

今年は大会を運営する必要があり運営に徹するつもりでしたが、参加艇数が少なかったため、急遽杉浦氏と共に参加することとなりました。運営は本部池田氏、石川氏、中部前川氏、藤田氏、竹内氏にお骨折りいただき申し訳なく思っています、ありがとうございました。

ご存知のように、台風が通過する中で不安を抱えながらの開催でしたが、初日は小雨がパラつく程度でこの地域だけ不思議と良い天気でした。

風は南東～東 3-5m/s 位から、強くても 7,8m くらいで、腰のある順風の中で活気のあるレースが展開されました。

台風の風ですので息があり、時折猛烈に吹き抜けることがあるため、B リグから D リグまで小さくしました。

スイング艇は更に低いリグが多かったようで、慣れない強風に苦戦を強いられたようです。

池尻氏、宗助氏はスイング艇ですが、時折非常に良いスピードをみせ、上位に位置されていましたが、これは不断の努力によるものと思います。

私の場合、最近練習量が圧倒的に不足していましたが、普段強風のときばかり走らせているため、このような状況でも楽しく走らせることができました。

もしこのような状況でなければ、結果は全く違っていたことでしょう。

今回 D リグは、ポケットラフのセールでしたが、小さいエリアでも上りがよく走り新しい発見でした。

ポケットラフは製作が多少難しいのが難点です。

しかしマストを覆うため、空力がよくなり風上航において特に効果があると思います。

今までなかなか比較できなかったのですが、今回実感できましたので今後スモールリグから増やしていくつもりです。

あと今回のコースですが、風上マークの横にもうひとつマークを置き、下マークは 2 個のマークの間をゲートとするコースとしました。

これは最近 RC ヨットでは、世界標準といってもよいコースです。

旧オリンピックコースは、上マークで風上航と回航後のコースが重なるため重大な衝突を起こしやすい、サイド、下マーク回航時に艇が重複しケースを起こしやすい、などの問題がありました。

そのためコースを監視したり、多発する抗議に対応する必要があり、運営の人数を増やすなどする必要がありました。

今回のコースはこれらの問題を軽減するものですが、コースに慣れていないなどの問題があります。

今後徐々に国内でも普及することを望みます。

最後になりましたが、大会を運営していただきました本部、中部支部諸氏、悪天にも係わらず遠路来られた選手諸氏、誠にありがとうございました、心よりお礼申し上げます。